

マルコの福音書 10:17-31 救いは神の恵みによってイエス様に従うこと

今日はマルコによる福音書10章17節から31節まで見ていきましょう。この文脈は、イエス様がまだエルサレムに向かっている最中に起こっています。そして、この旅の途中で、イエス様は質問をする人々に次から次へと出会う、その質問によって、イエスに従うとはどういうことかを教える機会を与えられました。聴衆は質問者だけでなく、主にイエスはこれらの出会いを用いて、キリストに従うとはどういうことかを弟子たちに教えられています。今日の出会いは、救いの核心に迫る、イエスが答える最も重要な質問ではないでしょうか。救いの祈りを牧師や日曜学校の先生の後についてただ繰り返して祈れば救われるという福音のメッセージを伝える教会の環境で私は育ちました。子供だった私はそうしましたが、やがて、決まった言葉を唱えたからといって本当に救われたわけではないことを理解するようになりました。今日、この箇所に出会う人のように、私も子供の頃から戒めを守り、良いクリスチャンの子供 だったと率直に言うことができます。しかし、救われてはいませんでした。なぜなら、救いとは罪を悔い改めること、つまり自分の罪を認め、イエスを主と受け入れ、心からキリストに従う者となることだからです。口からの言葉だけではなく、それ以上に、心のあり方であり、その結果としての行動なのです。

まず、マルコ書を読み、救いが実際に何であるかという問題に迫られた人に出会いましょう。マルコの福音書10章17節イエスが道に出て行かれると、一人の人が駆け寄り、御前にひざまずいて尋ねた。「良い先生。永遠のいのちを受け継ぐためには、何をしたらよいでしょうか。」

この人はイエスに駆け寄り、人生の本質的な問いを投げかけました。それは、この人生がすべてであるはずがないこと、そして、私たちがこの地球上で生きる60年、70年、80年、あるいはそれ以上の歳月よりも、人生にはもっと大きな目的があるはずだということを認識する質問でした。私たちは、これが良い質問であることを理解するべきです。実際、これは神が私たちに問うことを望んでおられる問いであり、神はその答えを与えておられます。もちろん、救いの計画は私たち個人の運命を超えたものであり、被造物すべてを神の本来の御計画に回復させることです。しかし、神の救いの御計画は、その核心においては、完全な環境の中で神に栄光を帰する永遠の人生を送るために、神のために民を贖うことなのです。ですから、これは正しい質問なのですが、この人は自分が受け取った答えが気に入ったのでしょうか？この会話がどう発展するのか、読み進めてみましょう。

18から20節を見て下さい。18 イエスは彼に言われた。「なぜ、わたしを『良い』と言うのですか。良い方は神おひとりのほか、だれもいません。19 戒めはあなたも知っているはずですが。『殺してはならない。姦淫してはならない。盗んではならない。偽りの証言をしてはならない。だまし取ってはならない。あなたの父と母を敬え。』」20 その人はイエスに言った。「先生。私は少年のころから、それらすべてを守ってきました。」

イエス様はここで良い方は神おひとりのほか、だれもいません。と言う

興味深い発言をしてその人に答えます。主はこの発言で2つのことを行っています。第一に、救いの源である神にこの人を導いています。もちろん、イエス御自身は神であり、十字架上の犠牲という神の定めによって救いに至る道です。そしてそこに、この背後にある第二の考えが見えてきます。

イエス様はこの人に、イエスを「善い人」と呼ぶことの意味をよく考える必要があると言っているかのようです。そして、イエスを 善い と呼ぶということは、イエスが神であるか、少なくとも神と何らかの関係があるということだと理解するならば、それを認識することには意味があります。それは、この人の発言の後、イエスが彼に何をするように言われたかを考えると重要です。そしてイエスは彼に十戒を示されます。善良なユダヤ人であれば、この十戒が善の定義であったはずですが。イエスはそのすべてではなく、他者への接し方に関する十戒後半の部分だけを引用されました。

もちろん、だまし取ってはならない。というのは十戒にはありませんが、他人の財産を手に入れるために詐取行為まで行うことにさえなる、隣人の所有物を欲してはならないことに関連しています。ユダヤ人の理解では、人が戒めを守るとは絶対に可能であり、その人はその理解に従って答えています。彼らは、申命記30章15-16節のような箇所に基づいて、それが可能であると信じていました。

申命記 30章 15-16節 見よ、私は確かに今日あなたの前に、いのちと幸い、死とわざわいを置く。16 もしあなたが、私が今日あなたに命じる命令に聞き、あなたの神、主を愛し、主の道に歩み、主の命令と掟と定めを守るなら、あなたは生きて数を増やし、あなたの神、主は、あなたが入って行って所有しようとしている地で、あなたを祝福される。

彼らが理解できなかったのは、旧約聖書が何度も何度も明言していることで、それは、罪ゆえに、人間は実際に律法を守ることができないことです。しかし、ユダヤ人の世界観では、この戒めを守ることによって、人は神との正しい立ち位置にあることできるのです。つまり、何かをすることによって、神との正しい関係が得られるのです。その人の**永遠の命を受け継ぐためには何をすればよいのでしょうか？**という問いもその考え方が根本にあったのです。

これは、どうすれば永遠の命を得ることができるのか、どうすれば神との関係を持つことができるのかについて、今日多くの人が持っているのと同じ理解です。しかし、私たちがイエスのもて来て、**永遠の命を受け継ぐためには何をすればよいのでしょうか？**こう質問するとき、イエス様は全く違ったお答えをされます。21-22節で見ます。**21 イエスは彼を見つめ、いつくしんで言われた。**

「あなたに欠けていることが一つあります。帰って、あなたが持っている物をすべて売り払い、貧しい人たちに与えなさい。そうすれば、あなたは天に宝を持つことになります。そのうえで、わたしに従って来なさい。」 22すると彼は、このことばに顔を曇らせ、悲しみながら立ち去った。**多くの財産を持っていたからである。** イエスはこの人に、真の永遠の命はどこにあるのかという真理を突きつけられました。それは何をするかではなく、誰に従うかです。イエス様は、この人が戒めを守っていたことを否定はしませんでした。実際には第一の戒めを守っていなかったことを直接的な方法で指摘されました。**出エジプト記 20章2節 わたしは、あなたをエジプトの地、奴隷の家から導き出したあなたの神、主である。3あなたには、わたし以外に、ほかの神があってはならない。**

すべての罪の根源は第一の戒めに違反することであり、罪とは、私たちの人生において神にあるべき栄誉を神から奪う態度や行為のことだからです。簡単に言えば、私たちは偶像礼拝によって第一の戒めに背いているのです。ローマ人への手紙3章23節は、これは罪の本質であると教えています。**ローマ人への手紙 3章23節 すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、**

私たちの人生における神の栄光を損なうものがあるとき、それは私たちの罪の深さを示しています。この人は、律法を守っていれば十分だと考えていましたが、イエス様は、彼の心の中には少なくとも一つ、神よりも優先するものがあつたことを指摘されました。それはこの世の富、彼の財産でした。つまり、彼は律法を守る者ではなく、律法を破る者だったのです。イエスが彼に与えた答えは、自分の富を手放してイエスに従うことでした。では、クリスチャンになるためには、持っているお金を手放さなければならないということでしょうか？いいえ、イエスがここで言っているのはそうではありません。イエスは、この特定の男性と、彼が悔い改めようとしない罪を取り上げているのです。罪からの悔い改めとは、単に悔い改めの言葉を口にするのではなく、その罪を拒否する決意をすることなのです。彼にとっては、富こそが真の信仰のありかだったのです。これは誤った信仰の状態でした。彼のこの人生でのお金の信頼、安心が、彼をイエスに従うことの妨げとなっていたのです。イエスに従い、イエスを救い主、主として受け入れることは、罪を心から悔い改めることであり、罪を拒絶することです。すぐに変わるものではありませんが、変わろうとする意志が大切です。この人は、自分の罪を突きつけられた時、心から悔い改めていなかったため、変わる意志がありませんでした。

私たちは、この人が貪欲を拒絶せず、永遠の命への望みをイエスに完全に託そうとしなかったことを批判することができます。しかし、多くの人々が今日も同じことをしています。もしかしたら、今日ここにいるあなたも、心の中でこの人と同じ罪を犯しているために、イエス様に従うことを拒んでいるのかもしれない。

この世でのあなたの希望はお金にあり、神にそれを手放すように言われたくなく、自分のものだと思うものでそのお金で神の仕事を支える義務があるように感じたくもないのです。しかし、それはお金ではなく、日本人であることかもしれません。あなたが生まれ育ち今生きている日本の文化のある側面をイエス・キリストを受け入れ従うことによって否定することになることかもしれません。それがあなたの偶像となりイエスに従うことの妨げになります。

この青年のように、あなたは自分のアイデンティティやこの地上での財産によってもたらされる安心や保証のために、自分の永遠の運命を犠牲にすることを厭いません。イエス様は、私たちの多くが地上で蓄えることのできる富に信頼を寄せているために、富の存在がキリストに近づく人にとって大きな弊害となりうることを認識されていました。これは超富裕層だけの話ではありません。今朝、次の食事のために必要なお金を祈り求めねばならない人はこの礼拝堂にはいらっしやらないでしょう。地球上の多くの人たちの目から見れば、それだけで私たちはこの世の富裕層の仲間入りをしたことにな

ります。路上生活をしているわけでもなければ、電車に乗るお金もあり、車が必要なら大抵の場合所有されているでしょう。そのことを踏まえて、イエス様は23-25節で驚くべき発言をされます。

23 イエスは、周囲を見回して、弟子たちに言われた。「富を持つ者が神の国に入るのは、なんと難しいことでしょう。」 24 弟子たちはイエスのことばに驚いた。しかし、イエスは重ねて彼らに言われた。「子たちよ。神の国に入ることは、なんと難しいことでしょう。 25 金持ちが神の国に入るよりは、らくだが針の穴を通るほうが易しいのです。」

弟子たちがイエスの言葉に驚いたのにはもっともな理由がありました。文字通りに受け取れば、キリストのもとに来ることができるのは貧しい者だけであり、それは彼らがイエスについて知っているすべてに反することだと気づいたからでした。イエス様には、貧しく、社会が手を差し伸べないところで、イエス様がかけられた憐れみを経験した信者がいましたが、ルカ19章に登場するイエス様に従った金持ちのザアカイのような信者もいました。キリストに従いなさいという召しには、明らかにあらゆる階層の人々が含まれています。26-27節で、イエス様はこの問題の解決策を彼らに告げます。

26 弟子たちは、ますます驚いて互いに言った。「それでは、だれが救われることができるでしょう。」 27 イエスは彼らをじっと見て言われた。「それは人にはできないことです。しかし、神は違います。神にはどんなことでもできるのです。」

もし救いが私たちの業だとしたら、金持ちがキリストに従うのは難しいというこの真理は重大な問題となるでしょう。そして、彼らが応答しないので、福音を伝える価値がないということになるでしょう。実際、もし救いが、金持ちであろうと貧乏人であろうと、年寄りであろうと若者であろうと、日本人であろうと中国人であろうとアメリカ人であろうと、その他の国籍の人であろうと、私たちの誰かに委ねられているとしたら、私たちは大問題を抱えていることとなります。なぜなら、聖書にはローマ人への手紙3章10節から12節にこう書いてあるからです。

ローマ人への手紙 3章 10~12節 10次のように書いてあるとおりです。「義人はいない。一人もいない。 11 悟る者はいない。神を求める者はいない。 12 すべての者が離れて行き、だれもかれも無用の者となった。善を行う者はいない。だれ一人いない。」わかりますか。神を求める者はいないのです。私たちの誰もがキリストに従うのは、神の恵みのおかげなのです。それは、神がその愛のうちに救いをあらかじめ決めておられるからです。神は私たちをエペソ人への手紙が言うように私たちを選ばれたからです。

エペソ人への手紙 1章 4~6節 すなわち神は、世界の基が据えられる前から、この方にあって私たちを選び、御前に聖なる、傷のない者にしようとされたのです。 5 神は、みこころの良しとするところにしたがって、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ決めておられました。 6 それは、神がその愛する方にあって私たちに与えてくださった恵みの栄光が、ほめたたえられるためです。

救いは、キリストを主であり救い主として従うよう、永遠の昔から選ばれた人々に対する、神の恵みのみによる無償の賜物です。これは、私たち自身をイエス様と私たちの人生のための主の目的のために完全に献げることです。しかし、これは損失ではなく、私たちの最高の利益なのです。それが28節から31節に書かれていることです。

28 ペテロがイエスにこう言い出した。「ご覧ください。私たちはすべてを捨てて、あなたに従って来ました。」 29 イエスは言われた。「まことに、あなたがたに言います。わたしのために、また福音のために、家、兄弟、姉妹、母、父、子ども、畑を捨てた者は、 30 今この世で、迫害とともに、家、兄弟、姉妹、母、子ども、畑を百倍受け、来たるべき世で永遠のいのちを受けます。

31 しかし、先にいる多くの者が後になり、後にいる多くの者が先になります。」ペテロは再び口を開きますが、これは彼がキリストに従うためにすべてを投げ出すことを大変な事と考え、拍手喝采や同情を求めていると見抜くべきです。しかし、これはキリストに従う際の正しい姿勢ではありません。私たちは、キリストに従うために誰がより多くのものを諦めたかに焦点を当てるのではなく、私たちが従っているキリストと、キリストにあって、キリストを通して私たちが得るものに焦点を当てるべきです。ピリピ人への手紙にある使徒パウロの言葉との違いを見てください。

ピリピ人への手紙 3章 8~10節 それどころか、私の主であるキリスト・イエスを知っていることのすばらしさのゆえに、私はすべてを損とと思っています。私はキリストのゆえにすべてを失いましたが、それらはちりあくただと考えています。それは、私がキリストを得て、 9 キリストにある者と認められるようになるためです。私は律法による自分の義ではなく、キリストを信じることによる

義、すなわち、信仰に基づいて神から与えられる義を持つのです。10 私は、キリストとその復活の力を知り、キリストの苦難にもあずかって、キリストの死と同じ状態になり、

使徒パウロは、**永遠の命を受け継ぐためには何をすればよいのでしょうか？**という問いに対する答えを見つけました。そしてその答えは、イエスを主と知ることでした。彼はその関係をとっても大切にしていたので、イエスの前では、この世の他のすべてが**ちりあくた**のように見えました。だから彼にとって、ゴミ以外のものを捨てるのではなく、イエスを知るすべての人に約束されている永遠の命への復活によってもたらされる永遠の命を受け継ぐことができたのです。

イエスがここで言っているのはそういうことです。イエスに従いなさいという呼びかけは、この世とイエスの両方ではありません。どちらか一つです。イエスは私たちのすべてを、私たちの献身を、イエスの栄光のために、そして私たちの人生におけるイエスの主権のために、わき目をふらず集中することを求めておられます。家であれ、家族であれ、財産であれ、福音のためにそれを放棄するとき、イエス・キリストにおいて得られるものに照らせば、それらは比べようがありません。30節にあるように、**今この世でと来たるべき世で**永遠の命を得るということです。確かに、この世で得るものは迫害さえも伴いますが、教会、キリストのからだの中で、私たちはキリストにあって真の家族を得ます。そしてキリストにあって、私たちはマタイ書6章20節が次のように表現する**永遠の富**を得るのです。

マタイの福音書 6章20節 自分のために、天に宝を蓄えなさい。そこでは虫やさびで傷物になることはなく、盗人が壁に穴を開けて盗むこともありません。

真の救いは、イエス・キリスト、その主だけにあります。あなたはイエス・キリストを主であり救い主として従っていますか？イエス・キリストに栄光を帰すことに自分の人生を完全に向けようとしていますか？どのような形であれ、この世の富にしがみつこうとしたり、この世の目から見ても一番になろうとしても、神の目から見ても一番になることはできません。キリストを、そしてキリストだけを、私たちの人生の全ての部分の支配者、真の王として求めることによってのみ、私たちは神の目において一番になれるのです。そして、神の目こそが永遠に重要なのです。なぜなら、この世を超えた私たちの未来が永遠の死であるか、永遠の命であるかを決定するのは神だからです。

その未来は、私たちのイエス・キリストとの関係によって決まります。イエス・キリストは、私たちの罪を贖い、救いを可能にするために十字架上で死なれました。ですから今日、私たちはこのパンを食べ、この杯を飲むという主の命令に従って、その犠牲を思い起こし、ある意味で祝うのです。もしあなたがイエス・キリストを主であり救い主として受け入れ、イエス・キリストに従ってバプテスマを受けたのであれば、この聖餐式に参加してください。もしあなたがまだイエスを受け入れておらず、バプテスマも受けていないのであれば、今回はご遠慮ください。親御さんにとって、お子さんにこの食事の大切さを教える最善の方法は、準備ができていない場合は参加させないことです。私が祈った後、執事が礼拝堂の四隅からパンとジュースを配ります、全員に配り終わったら一緒にパンを食べ、一緒に杯を飲みます。祈りましょう。

Mark 10:17-31 Salvation is following Jesus

Today, we are looking at Mark 10:17-31. The context of this happens during the period where Jesus is still heading towards Jerusalem. And on this journey he keeps meeting people whose questions give Jesus the opportunity to teach about what it means to follow him. The audience is not just the ones asking the question, but primarily Jesus uses these encounters to teach his disciples more about the what it means to follow Christ. Today's encounter may be the most important question that Jesus answers, because it gets to the heart of salvation. I was raised in a church environment where the message of the gospel was simply pray a repeat-after-me salvation prayer and then you were saved. I did that as a child, but eventually came to understand that I was not really saved because of saying a set of words. Like the man we will meet today in this passage, since I was a child, I could honestly say that I had followed rules and was a "good Christian kid." But I was not saved. Because salvation is repenting of sin, meaning you have to recognize your sin and accepting Jesus as your Lord, truly becoming a follower of Christ. That is far more than words from our mouth, but attitudes of our heart and actions that result.

Let's begin reading at Mark 10:17 and meet this person who is confronted with what salvation really is. **17 And as he was setting out on his journey, a man ran up and knelt before him and asked him, "Good Teacher, what must I do to inherit eternal life?"** This man comes up to Jesus and the question he asks is the essential question of life. It is a question that recognizes that this life cannot be all there is, and that there has to be a greater purpose to life than the 60, 70, 80 or more years we live here on this globe. We need to see that this is a good question. In fact, it is the question that God wants us to ask, and God has provided the answer to. Now, of course the plan of salvation is beyond our personal destiny, it is about the restoration of all of creation to God's original plan for it. But, at its core, God's plan for salvation is about redeeming a people for himself to an eternal life of bringing glory to him in a perfect environment. So, this is the right question, but does this man like the answer he receives? Let's read on and see how the conversation goes. Look at verses 18-20. **18 And Jesus said to him, "Why do you call me good? No one is good except God alone. 19 You know the commandments: Do not murder, Do not commit adultery, Do not steal, Do not bear false witness, Do not defraud, Honor your father and mother."** **20 And he said to him, "Teacher, all these I have kept from my youth."**

Jesus answers the man with an interesting statement, **No one is good except God alone.** He is doing two things with this statement. Number 1, he is pointing the man to God as the source of salvation. Now, of course, Jesus is himself God and is the path to salvation through God's provision of his sacrifice on the cross. And that is where the 2nd idea behind this comes into view. It seems as if Jesus is telling this man that he needs to really think about what the implications are of calling Jesus, "good." And then if he understands that calling Jesus good means that he is God or at least in some way related to God, then there are implications in recognizing that. That would be important with what Jesus tells him to do after the man's statement. Then Jesus points him to the 10 Commandments. These would have been the way that any good Jew would have defined goodness. Jesus didn't quote all of them, just the second half related to our treatment of others. Of course, **"Do not defraud"** does not appear in the 10 Commandments, but is related to not coveting your neighbors property which would lead to even fraudulent actions to get that property. In Jewish understanding, it was

absolutely possible for a person to keep the commandments and the man answers according to that understanding. They believed that this was possible based on such passages as [Deuteronomy 30:15-16](#) “See, I have set before you today life and good, death and evil. 16 If you obey the commandments of the Lord your God that I command you today, by loving the Lord your God, by walking in his ways, and by keeping his commandments and his statutes and his rules, then you shall live and multiply, and the Lord your God will bless you in the land that you are entering to take possession of it. What they failed to understand was what the Old Testament made clear over and over, because of sin, humans are incapable of actually keeping the law. But to the Jewish worldview, keeping this commandments would put one in a right standing with God. In other words by doing something, your position with God could be obtained. This idea was even present in the question of the man to Jesus, **what must I DO to inherit eternal life?**

This is the same understanding that many have today for how you get eternal life and how you have a relationship with God. But when we come to Jesus and ask the question, “**what must I do to inherit eternal life,**” you get an entirely different answer. This is what we see in verses 21-22. **21 And Jesus, looking at him, loved him, and said to him, “You lack one thing: go, sell all that you have and give to the poor, and you will have treasure in heaven; and come, follow me.” 22 Disheartened by the saying, he went away sorrowful, for he had great possessions.** Jesus confronts the man with the truth about where real eternal life is found at. It is not about what you do, but who you follow. He didn’t deny that this man had kept the commandments, but he pointed out in a direct way that he had not actually kept the first commandment. [Exodus 20:2-3](#) says, **2 “I am the Lord your God, who brought you out of the land of Egypt, out of the house of slavery. 3 “You shall have no other gods before me.** At the root of all sin is a violation of the the first commandment, because sin is any attitude or action that takes the glory that God deserves in our lives. To put it simply, we violate the first commandment by idolatry, by putting anything before God. That is the essence of sin according to [Romans 3:23](#) which tells us that **all have sinned and fall short of the glory of God.** When anything detracts from God’s glory in our lives, it shows the depth of our sin. This man thought that he was good enough by doing what the law said, but Jesus pointed out that in his heart there was at least one thing ahead of God in his life – his money. So, rather than being a law keeper, he was a law breaker. The answer that Jesus gave him was to give away his wealth and follow Jesus. Now, does this mean that in order to be a Christian, we must give away our money? No...that’s not what Jesus is saying here. He is addressing this particular man and the sin he is not willing to repent of. You see repentance from sin is not just saying words of repentance, but a determination to reject that sin. For him, his wealth was where his true faith was at. This was a situation of misplaced faith. His trust, his security in this life through money, kept him from following Jesus. To follow Jesus and accept him as Savior and Lord is to truly repent of sin, to reject it. Is it an immediate change, definitely not, but it is a willingness to change. This man had no willingness to change because he was not truly repentant when confronted with his sin.

We can criticize this man for his unwillingness to reject greed and to fully put his hope for his eternal life in Jesus. But so many people do the same thing today. Maybe you are here today, and still refuse to follow Jesus, because in your heart your sin is the same as this man. Your hope in this world is found in money, and you don’t want God to ask you

to give it up in any way, or even feel an obligation to support his work with what you see as YOURS. But it may not be money, for you it may be, being Japanese. To accept and follow Jesus Christ is to reject certain aspects of the culture we live in and for some of you born in, and that becomes the idol that keeps you from following Jesus. Just like this young man, you are willing to sacrifice your eternal destiny for the security that comes with your identity or your possessions here on this earth. Jesus recognized that the presence of riches could be a great detriment to a person coming to Christ because of the trust that so many of us have in the wealth we can accumulate on earth. And don't think this is just about the ultra wealthy. Probably none of us in this room this morning will have to pray for money to purchase food for our next meal. In the eyes of many in this world, that fact alone means that we are among the wealthy of this world. You aren't living on the street, you have money to take a train or in most cases probably have a car if you need one. Based on that Jesus makes a surprising statement in verses 23-25. **23 And Jesus looked around and said to his disciples, "How difficult it will be for those who have wealth to enter the kingdom of God!" 24 And the disciples were amazed at his words. But Jesus said to them again, "Children, how difficult it is to enter the kingdom of God! 25 It is easier for a camel to go through the eye of a needle than for a rich person to enter the kingdom of God."** With good reason, the disciples were astonished at Jesus's words, because they recognized that taken literally this meant only the poor could come to Christ, which went against everything they knew about Jesus. He had followers who were poor and had experienced the mercy that Jesus showed them where society did not, but he also had followers like Zacheus, a rich man who followed Jesus in Luke 19. Clearly every class of people is included in the call to follow Christ. Jesus tells them the solution to this problem as verses 26-27 continue. **26 And they were exceedingly astonished, and said to him, "Then who can be saved?" 27 Jesus looked at them and said, "With man it is impossible, but not with God. For all things are possible with God."** If salvation was our work, then this truth that it is hard for the rich to follow Christ would be a significant problem. And it would mean that it is probably not worth sharing the gospel because they will not respond. In fact, we have a big problem if salvation was up to any of us rich or poor, old or young, Japanese, Chinese, American or any other nationality. Because the Bible tells us in **Romans 3:10-12**, as it is written: **"None is righteous, no, not one; 11 no one understands; no one seeks for God. 12 All have turned aside; together they have become worthless; no one does good, not even one."** Did you see that...**no one seeks for God?** The only reason any of us are followers of Christ is because of God's grace. It is because God in his love predestined to salvation. He chose us as **Ephesians 1:4-6** says, **4 even as he chose us in him before the foundation of the world, that we should be holy and blameless before him. In love 5 he predestined us for adoption to himself as sons through Jesus Christ, according to the purpose of his will, 6 to the praise of his glorious grace, with which he has blessed us in the Beloved.**

Salvation is the free gift of God by his grace alone to those who have been chosen from eternity to follow Christ as their Lord and Saviour. This is a complete dedication of ourselves to Jesus, and his purpose for our lives. But this is not a loss, this is our best gain. That's what we see in verses 28-31. **28 Peter began to say to him, "See, we have left everything and followed you." 29 Jesus said, "Truly, I say to you, there is no one who has left house or brothers or sisters or mother or father or children or lands, for my sake and for the gospel, 30 who will not receive a hundredfold now in this time, houses and brothers and sisters and mothers and children and lands, with persecutions, and**

in the age to come eternal life. 31 But many who are first will be last, and the last first.”

Peter again runs his mouth, and you should read this as him sort of looking for applause and sympathy for what he sees as a big deal to give everything up to follow Christ. But this isn't the right attitude in following Christ. We don't spend time focusing on who gave up more to follow Christ, we spend time focusing on the one we are following and what we gain in and through him. Look at the difference in the Apostle Paul's words in the letter to the Philippians. [Philippians 3:8-10](#) says, [8 Indeed, I count everything as loss because of the surpassing worth of knowing Christ Jesus my Lord. For his sake I have suffered the loss of all things and count them as rubbish, in order that I may gain Christ 9 and be found in him, not having a righteousness of my own that comes from the law, but that which comes through faith in Christ, the righteousness from God that depends on faith— 10 that I may know him and the power of his resurrection, and may share his sufferings, becoming like him in his death, 11 that by any means possible I may attain the resurrection from the dead.](#) The Apostle Paul had discovered the answer to the question, [what must I do to inherit eternal life?](#) And the answer to that question was knowing Jesus as his Lord. He valued that relationship so much that everything else on earth looked to him as [rubbish](#), as garbage, in the face of Jesus. So to him, it wasn't giving up anything but trash, so he could inherit eternal life that came through the resurrection to eternal life that is promised to all who know Jesus.

That is what Jesus is saying here. The call to follow Jesus is not both..and, you can't have the world and have Jesus. It is either, or. He demands all of us, all our devotion, and undivided attention to his glory, and to his Lordship in our lives. But whatever we give up in that process is returned to us a hundred fold he says, whether it is houses, family, possessions, when we give that up for the gospel, it is nothing in light of what gain in Jesus Christ. And notice that receiving is both [“in this time”](#) as verse 30 says and [“in the age to come eternal life.”](#) To be sure that gain in this life will come with [persecution](#) even, but within the church, the Body of Christ we gain a true family in Christ. And in Christ, we gain eternal riches that [Matthew 6:20](#) describes as ²⁰... [treasures in heaven, where neither moth nor rust destroys and where thieves do not break in and steal.](#) That is where true salvation is found – in Jesus Christ and him alone. Are you following him as your Lord and Savior? Are you seeking to orient your life fully to bringing glory to him? Seeking to hold onto the riches of this world in whatever way, to be “first” in the world's eyes does not make you first in God's eyes. Only by seeking Christ and him alone as the ruler and true king of every part of our lives will we be “first” in God's eyes. And it is his eyes that matter for eternity, because he is the one who will determine whether our future beyond this world is eternal death or eternal life.

That future is determined by our relationship with Jesus Christ. He died on the cross to pay for our sin, and make salvation possible. So today as we remember and in a sense celebrate that sacrifice by obeying his command to eat this bread and drink this cup. If you have accepted Jesus Christ as your Lord and Savior and been baptized in obedience to him, then we invite you to join us in this communion meal. If you have not accepted Jesus or been baptized yet, we would ask you to refrain from partaking at this time. For parents the best way to teach your children the importance of this meal is to not let them participate if they are not ready. After I pray, our Deacons will serve the bread and juice from the 4 corners of the sanctuary and then we will eat together and drink together once we have all been served. Let's pray.